

# おおの議会だより

No. 55  
58.11.1



市役所の課室を一部改正する条例など

# 15議案を可決・承認

一般会計には1億2,000万円追加

第208回定例会市議会は9月16日招集され、会期を26日までの11日間と定め、理事者から提出の議案15件を慎重に審議しました。その結果「昭和58年度一般会計補正予算」「大野市役所課室設置条例の一部を改正する条例」など、全議案を原案どおり可決・承認・同意・認定しました。また、市民の皆さんから出された請願・陳情は別掲のとおり決め、26日に閉会しました。

## 9月定例会

## 審議日程

- 16日 本会議（会期の決定、議案上程、提案理由の説明）
- 19日 本会議（一般質問、各案件委員会付託）
- 20日 委員会（産業経済、建設）
- 21日 委員会（教育民生、総務）
- 26日 本会議（各委員長報告質疑、採決）



## 議案等の審議結果

議案番号	件名	結果
第四十号	昭和五十八年度大野市一般会計補正予算（第四号）	原案可決
第四十一号	昭和五十八年度大野市老人保健特別会計補正予算（第二号）	"
第四十二号	昭和五十八年度大野市簡易水道事業特別会計補正予算（第一号）	"
第四十三号	昭和五十八年度南部第二土地区画整理事業特別会計補正予算（第二号）	"
第四十四号	大野市役所課室設置条例の一部を改正する条例	"
第四十五号	大野市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	"
第四十六号	大野市道路路占用料徴収条例の一部を改正する条例	"
第四十七号	大字・字区域の変更について（富田土地改良）	"
第四十八号	大字・字区域の変更について（大野佐開土地改良）	"
第四十九号	昭和五十七年度大野市水道事業会計の決算認定について	承認
第五十号	専決処分の承認を求めることについて（一般会計補正予算（第一号））	承認
第五十一号	専決処分の承認を求めることについて（一般会計補正予算（第二号））	"
第五十二号	専決処分の承認を求めることについて（市税賦課徴収条例）	"
第五十三号	教育委員会委員の任命について	同意
第五十四号	人権擁護委員候補者の推薦について	"
市会案第二号	大野市議会委員会条例の一部を改正する条例	原案可決



# 市政をきく

## 一般質問から

### 機構改革について

**問** この度の機構改革によって部制でなく大課制が採り入れられることになっているが、市民にとって分かりにくくて大変迷惑するのではないか。基本理念をどこにおいたのか聞きたい。

**答** 機構改革合理化委員会の中で検討した結果、部制と大課制の2案が示された。全国的な例を見ると5万人以下の都市では、部制を採用しているところが半数に達していないので大課制にしたい。改革を進める段階で職員を含め、市民の方にも理解しにくい点があると思うが、あくまで事務の簡素化・合理化のためであるので協力

願いたい。改革に当たっては、住民の福祉向上のため迅速に仕事が処理出来るよう組織作りに努めたつもりだ。

### 高山～大野～福井間

### 高規格道路について

**問** 最近、新しく高山市・大野市福井市を結ぶ高規格道路という考え方が出てきたが、これの建設を進めれば国道158号線の整備も一層早まるのではないか。

**答** 高規格道路とは最近出てきた言葉であり、はっきり承知していないが高速道路と同じようなものだと思っている。既に開通している中央高速道と結ぶ道路としても松本市まで行っている国道158号線を高規格道路に採択してもらう



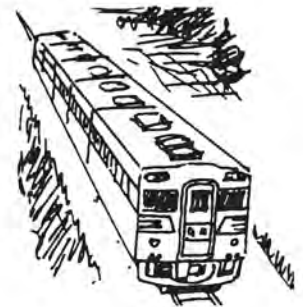
高規格道路としての採択が望まれる国道158号線（菖蒲池地係）

ことが必要だ。短期間には出来るものではないが、岐阜・長野等の各関係県と連絡を取り合いながら努力したい。

### 越美北線と南線の 連携について

**問** 越美北線を永久に存続させるためには、南線との連携が必要と考えられる。しかし、南線の方は第三セクター方式の機運になっているようだが、この点についての市長の考え方を伺いたい。

**答** 北線と南線を結ぶことについては、岐阜県知事を会長として全通促進期成同盟会で運動を進めている。今のところ、南線がどのような形で残るのか不明であるのでこれがはっきりした段階で関係市町村と協力し合って全通に最大の努力をしたい。



### 老人福祉センターの 運営について

**問** 現在、老人福祉センターの管理運営を市社会福祉協議会に委託をしているが、命令系統の単純化あるいは経費の節減などから考えて市直営にした方がよいのではないか。

**答** 委託契約が59年3月で終了するので、契約の更新までに運営審議会や社会福祉協議会などと慎重に協議し、問題点については改善していきたい。



## 市の花・木について

**問** 当市にはまだ市の象徴である花・木が指定されていないが、自然を愛する精神の培養と町の美化の面からも来年の市制30周年を機にこれを制定してはどうか。

**答** 市指定の花・木がないのは、県下では当市と勝山市だけである。ご意見のとおり来年は市制30周年を迎えるので、記念行事の中で考えたい。

選定に当たっては市の歴史上なじむものでなければならないし市のシンボルとしてふさわしいものでなければならないので、広く市民の意見を聞いて決めたい。



## 公共施設の配置について

**問** 市庁舎周辺の公共施設の配置計画について知りたい。

**答** 旧南校跡地については市立図書館・歴史資料館・展示館の3つの施設を計画している。さらに、

## 議会一口メモ

### 請願と陳情

#### 請願・陳情とは

- (1) 市議会に対する請願・陳情は、市民の皆さんの希望や要望を直接市政に反映させるため、法令で認められた権利です。
- (2) 提出者はだれでもよく、年齢・性別・国籍その他制限はありません。

(3) 内容は問いませんが、市議会の権能を考えると、一般的に市で行うことのできる事柄となっています。

#### 市議会での処理

- 請願・陳情は、委員会で願意の妥当性、実現の可能性など総合的な観点から慎重に審査し必要に応じて市長のほか関係機関に対応を求めます。
- 請願・陳情の審査結果については『議会だより』でお知らせします。

## 教育委員会委員

# 日下氏の任命に同意

## 人権擁護委員には大門氏

任期満了に伴う教育委員会委員として、日下賢勝氏（庄林）の任命と、人権擁護委員候補者

として、大門俊我氏（錦町）の推薦が行われた結果、それぞれ同意されました。

## 選管委員も決まる

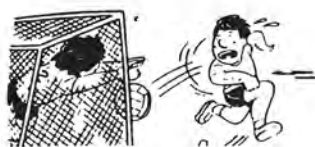
さらに、選挙管理委員会委員の選挙が行われ、加藤庄松氏（元町）南部小右衛門氏（中丁）永

田房子氏（新庄）石田泰蔵氏（橋爪）の各氏が委員に、岡崎佐氏（上打波）臼井輝治氏（下唯野）皆川英樹氏（下据）長谷川久氏（中保）の各氏が同補充員にそれぞれ選ばれました。

都市街路三番線の用地に使用する外、緑地帯として整備したい。

**問** スポーツ関係の施設を集中出来ないか。

**答** 公共施設を1ヵ所に集中することは管理面からも非常にいいが特にスポーツ施設については用地の確保が極めて困難だ。用地がないと体育館の建設が遅れるので、南部第二区画整理地区内で計画している。



## 利水計画について

**問** 現在、木本ガ原の再整備事業や赤根川・清滝川両水系のダム建設計画があるが、総合的な水の利用計画を考えるべきでないか。

**答** 木本ガ原の再整備については相当地元の話が進んでいるようである。今後、市街地にどのようにその水を受けるか関係の機関と十分話を進めたい。また、赤根川上流では現在、農業サイドからの利水面での調査をしているところであり、さらに、清滝川については治水面でのダム計画の調査をしているところである。調査の後、水が非常に豊富であれば今後利水問題を考えたい。



水量調査が行われている清滝川上流



## 農道の舗装について

**問** 基盤整備事業が順調に進展し農道の道路網が拡充したが、これの舗装を進めてはどうか。

**答** これまでも農林省等の事業の中や土地改良区で農道舗装を進めてもらっている。これらの対象外の農道がどれだけあるのか担当課で調査し、出来るだけ早く着手したい。来年の当初予算までには、ある程度農道舗装についての計画をはっきりしたい。



路面の舗装が望まれる農道

## 国道158号線の

### 地盤沈下について

**問** 国道158号線の花山峠手前付近に地盤の起伏が激しい所があり雨による冠水が度々あるが、その原因と対策を伺いたい。

**答** ご指摘の場所は地層が軟弱なために地盤が沈下するもので、現在の土木技術では沈下を止めることが出来ない状況である。また、道路が冠水するのは日詰川の改良が遅れていることにもよる。大野土木事務所と協力しながら、地元理解を得て早く改良したい。

## し尿浄化槽の管理について

**問** し尿浄化槽の管理が不十分なために河川の汚染が進んでいる。この管理は県の管轄になっている



が市の考え方を聞きたい。

**答** 浄化槽の管理・監督については保健所で行っているが、無届による設置や維持管理を怠る場合が多いようだ。今のところ市では

取り締まることが出来ない。しかし、最も大切なことは地域住民みんなが自覚することであるので、いろいろな方法で意識の高揚を図りたい。

## 請願・陳情審議結果

番号	件名	提出者	結果
請願7号	市道拡幅舗装について	庄林区長 川瀬 武夫 外6区長	継続審査
請願8号	下庄小学校改築について	下庄小学校改築促進期成同盟会 会長 永田 敏夫	採 択
陳情9号	下水道施設の早期建設について	下庄地区区長 会長 永田 敏夫	採 択
陳情10号	善導寺川の床打舗装について	下庄地区区長 会長 永田 敏夫	採 択
陳情11号	市道編入について	菖蒲池区長 佃 嗣治	採 択
陳情12号	麦作用大型乾燥調整貯蔵施設について	上庄農業協同組合 組合長理事 橋本 祝男	採 択
陳情13号	市道編入について	下丁区長 富田助右衛門	採 択
陳情14号	美術作品展示のスペース確保について	大野市美術協会 会長 山崎 博	採 択
陳情15号	市道編入及び市道新設について	泉町三区長 滝本 新一 外8名	採 択
陳情16号	上庄中学校の早期改築について	上庄中学校PTA会長 森広 茂治 外3名	採 択
陳情2号	市道編入と道路新設等について	天神町区長 松田 国也	継続審査



# 委員会報告

各委員長報告から

## ●建設委員会

### ①道路融雪整備と地下水保全条例の関係について

地下水位の著しい低下に伴う市民生活の支障を防止するため、昭和52年に「地下水保全条例」を制定し今日に至っている。この間地下水のかん養対策を進める一方、融雪用水は真にやむを得ない場合を除き、当分の間地下水の使用を規制してきた。

しかし昨今は国・県道の融雪が着々と進められており、この条例による規制範囲がどこまで及ぶのか、また当分の間とはいつごろまでを考えているのか判然としない。

したがって市民感情としては割り切れない点が多く、今後は狭い市道や緊急の際に必要な道路など融雪に対する要望が多く出てくることが予想される。

この点この条例と道路融雪との関係についての対応をどう考えていくのか、早急に基本姿勢の打ち出しを要望する。



融雪工事が進む六間通り



これまでの土木課・都市計画課が統合されて新しく出来た建設課

## ●産業経済委員会

### ①水田利用再編対策について

当市への転作目標面積の配分は過去第1・第2期とも県下の最高であり、今日まで種々論議されてきた。過日理事者と議会が県下一律配分となるよう県に対して陳情を行った。その際の感触としては誠に厳しい実状であり、今後あらゆる機会を捕らえて強力に働き掛けることを要望した。

## ●総務委員会

### ①行政組織機構の改革について

機構改革の基本は市民の立場に立って考え、最少の経費で最大の効果を挙げることであり、市民にとって便利な組織となることが肝要である。今回の大課制の採用により事務・事業の簡素化・効率化を図り、迅速に処理することであるが、実施に当たっては単に複数の課を寄せ集めたにとどまり、それぞれが旧態依然として無意味な改革にならないよう十分留意すること。それぞれの課が行政目的に必要な事務・事業の検討・分析を行い、統合すべきものは統合し

て事務能率の向上に努めること。また機構においては総合的な整序体系、整合性を重視し、大課制に伴う職制においても職員の志気、相互間の人間関係が低下しないよう配慮すること。なお今回の機構改革が実効性あるものとして推進できるよう要望した。

また改革の内容、目的等について市民サービスが低下しないよう職員はもとより、市民に対しても早急に周知方を期すること。

## ●教育民生委員会

### ①公民館長の嘱託制について

本件については社会教育の重要性と、公民館のもつ役割、機能の多面的要素を踏まえながら、その是非について今日まで論議されてきた。しかしこの問題は制度上にかかわる問題であり、軽々しく移行することは住民自治を根底からくつがえすもので、承認することができないとの意見があった。教育委員会自体は公民館のもつ機能と役割を十分認識し、確固たる信念をもって臨むとともに、市長部局においても教育委員会の意見を十分尊重するようとの意見が述べられた。